



白金原輝会（始良市）

発表者：笛 田 六 男 氏

始良市重富の白金原輝会の笛田と申します。

1 はじめに

始良市は、県のほぼ中央に位置していることを活かして、「県内で一番住みやすいまちづくり」を基本戦略としています。町村合併以降も人口が増え続け、まもなく目標の8万人を達成しようとしています。「住むなら“あいら”」、「子育てなら“あいら”」などの4つの項目を基本目標に掲げています。

例年、東洋経済新報社が東京23区を含めた全国の市の「住みよさランキング」を発表していますが、今年、我が市は鹿児島で一番にランク付けされるなど、2年連続のランク付けになっています。

一方、有力な企業や施設の誘致を図るとともに、現在好評を博している「あいらぶゆう号」という愛称の観光バスの運行などのほか、人口の増加に向けて17の地域コミュニティを編成し、まちづくりの体制の整備が進められています。

かつて江戸時代の参勤交代で、薩摩藩は吉野から白金坂を下って始良郷に入り、熊本を経て江戸に向かっていました。この坂付近にそびえる岩剣山で島津義弘公が初めて鉄砲を使い、19歳で初陣を飾ったと言われており、私どもが歴史上日本で初めて鉄砲を使ったのは長篠の戦いと習っていますが、これより21年前のことです。

現在この山の麓に重富小学校あり、かつての義弘公の居城であります。先日、秋の運動会に招かれ、見事なマスゲームを見せてもらいました。現

在575名の生徒が学んでいますが、この学校の前の交差点において私ども輝会は子どもたちの見守り活動を行っています。これは秋の子ども会の神輿の様子ですが、今年4月に112





名もの新入生が入校し、うち28名は白金原自治会の子どもです。まさにこの子どもたちは白金原自治会の宝物です。

また、近くに思川が流れていますが、こどもの日には「始良っ子・明るく元気に・大空へ」という大きな看板を掲げ、輝会のメンバーが中心になって100匹の鯉のぼりを掲げています。毎月第3土曜日を思川美化の日と定め、今週の土曜日で127回目を数えますけれども、輝会の会員が積極的に参加しています。



ご承知のとおり、一昨年から鹿児島マラソンが実施されていますが、重富中学校前が中継点となっていますので、輝会の会員挙げて応援をしているところです。

輝会についてご紹介しますと、昭和39年2月に結成され、現在女性が25名、男性が20名の計45名から成っています。地元自治会と一体となって活動することを基本方針としています。

2 学習活動

老いてもなお学習し、勉強するということが若さの秘訣と認識しています。

まず、市政勉強会についてですが、市長さんに毎年来てもらい、市の現況と展望についてお話をいただいています。

次に、交通安全学習会及び振り込め詐欺等学習会についてですが、警察署長に交通安全を、消費生活センターの職員にうそ電話・詐欺電話の防止についてお話を伺いました。この効果もあって、去る7月に私ども会員2人が実際に遭った「還付金がありますよ」との



電話に対し見事処理して事なきを得ました。

次に、健康づくり学習会についてですが、歯科衛生士から朝昼晩の食事後のほか、朝起きたとき、寝るときの1日5回の歯磨きが必要だとの指導を受けました。特に寝る前の歯磨きが非常に大事だということを教わりました。ぜひ実行したいと思います。



次に、島津義弘公についてですが、伺ったところによりますと、来年は「西郷どん」の大河ドラマをはじめ、明治維新150周年という冠をつけた記念のマラソンが実施されるそうです。この機会に、輝会の会員も、年をとったとはいえ、改めてかごっまの先人の偉業を孫たちに継承しようと誓い合っています。

次に、これは、会員のアコーディオンによる懐かしい歌の演奏のほか、和服の似合うベっぴんさんを先頭に踊りの練習を行っている様子です。おかげさまで、おはら節や炭坑節は会員全員で踊れるようになりました。

3 社会奉仕活動

社会奉仕活動についてでございます。

私どもの会員は、長年の経験や豊富な知識、技能、生活の知恵を持っていますが、これらを活かして地域住民にお返ししようと励んでいます。

まず、公民館・通学路の清掃についてですが、これだけの人が集まって一手に作業を引き受けて行うとともに、危険な場所には手づくりで「子どもに注意 通学路」という看板を設置しています。



次に、花壇の整備についてですが、来年3月の第3回鹿兒島マラソンに向け、2つの花壇を花いっぱいにして全国から来る1万名のランナーを精いっぱい応援しようと計画しています。

次に、子どもたちの見守り活動についてですが、1時間に約700台以上の車が通る横断道路に毎朝立ち続けています。先般、全国交通安全運動時にカウントしたところ、実に373名の児童が横断していました。今朝も見守り活動を実施したところでした。

次に、福祉施設への訪問・交流活動等についてですが、左の女性は10年間にも及ぶユネスコ支援を続け、先般、ユネスコ協会から感謝状をいただいています。また、ペットボトルキャップの収集に参加している人たちもいます。

4 生きがい交流活動

生きがい交流活動についてでございます。



まず、研修バス旅行についてですが、この日はグラウンドゴルフを楽しみ、風呂に入って裸のつき合いをし、そして昼食で楽しくカラオケをして会員の融和・親睦の場でもあります。時節柄、「一円玉の旅がらす」を歌い、一円玉募金をして市の社会福祉協議会へ寄付しました。

次に、いきいきサロンの支援についてですが、健康体操や遊戯、カラオケ等を実施するとともに、昼休みは輝会の女性軍によるおいしい食事づくりが行われます。

次に、近くの愛宕神社の六月灯についてですが、今年は重富小学校や重富中学校の子



もたちから162の灯籠が奉納され、会員が事前の準備や当日の運営、終了後の整理に従事するなど、地域住民に密着したイベントとして欠かせない行事になっています。

次に、子どもの遊び体験フェスタについてですが、NPO法人と協力しながら、夏休みに県民交流センターで実施したところ、

約80名の子どもたちが参加してくれました。また、同時期に重富公民館でも県の社会福祉協議会が実施するねんりん大学の研修会に参加し、遠くは鹿児島市や志布志市からも多くの研修者が訪れ、有意義な活動となりました。同様に地元の恵まれない子どもたちとも遊び体験フェスタを実施して楽しんだところです。

5 スポーツ・レクリエーション・専門部活動

スポーツ・レクリエーション・専門部活動についてでございます。

月例会において、みんなで誕生日をお祝いしながら、ラジオ体操やお手玉遊び等を実施しています。

まず、お手玉遊びについてですが、指の運動をリズムに合わせ、お手玉に目を配りながら集中してやらなければいけないので、脳トレに非常にいいゲームだと伺っています。

次に、合唱団についてですが、何と少年少女合唱団を持ってしまして、7月から毎週1回練習して秋の市老連の芸能大会や老人会に備えるものです。90歳を超える人も赤いベレー帽をかぶり、リボンをつけて若々しく歌っています。

次に、カラオケ同好会についてですが、月に一回集まり、ワンコインで食事をしながらカラオケを満喫しています。「青春時代」や「高校三年生」、そしてひばりさんがかつてミ



ニスカートををはいて歌った「真っ赤な太陽」なども飛び出す状況で、青春ならぬ老春を大いに謳歌しています。

次に、毎月17日の俳句の会についてですが、昭和23年度から毎月17日に実施している長寿のプログラムです。みんなで選考を行い、いい句は2つの公園に掲示をしています。

次に、グラウンドゴルフについてですが、週に5日ほど練習を行い、健康維持はもとより、

会員の交流や親睦の場として楽しく過ごしています。これは県の自動車学校において現地で実際に交通標識などを学びながらプレーしている様子です。また、春・秋の2回、自治会主催の子供会を交えたグラウンドゴルフ大会に参加するとともに、年4回の県立病院との交流大会にも



出席して、病院の患者さんや隣接の自治会とも交流する絶好の機会となっています。

次に、広報誌についてですが、1つは「しおり」で毎月全会員に、もう1つは「かがやき」という会報で自治会全部に配付して活動の状況をお知らせするとともに、併せて会員の増の一助に繋がればとの思いから発行していきまして、大変喜ばれています。

最後になりましたが、このたびは地域貢献団体として表彰していただき、誠にありがとうございました。私ども輝会は、健康づくりや友愛、奉仕を实践し、自治会や子ども育成会、NPO法人等関係機関・団体と協働しながら、「安心で安全な住みよい地域づくり」の活動に励んでいます。「担おう地域づくり」は私ども白金原輝会の大事なテーマであり、生きがいでもあります。これからも今回の表彰を糧にしていっぺこっぺ気張りたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。